シルバー ふじえだ

平成31年1月20日
第60号
発行
公益社団法人
藤枝市シルバー人材センター
藤枝市藤枝五丁目3番20号
☎054－641－5565
会員数 男606名・女324名
計　930名（1月1日現在）

子育て支援の就業拡大に応えて
シルバー人材センターの保育技能研修

子育て支援の要望に応えて
活躍するシルバー会員

シルバー人材センターでは、平成21年度より子育て支援事業に取り組み、保育サービスを充実するための「子育て支援技能研修会」を行っています。

この研修を受講したシルバー会員が、障害児が通う施設で保育支援に就業し、大変感謝され喜ばれています。

核家族化によって、働くお母さんが増え、保育園等に頼らざるをえない状況や、幼稚園の早朝や夕方の預かり保育の手伝い・一時預かり託児や病児保育などの要望が大変多くなり、子育て支援に従事する会員は忙しくなり、時には人手不足になっています。

今年度の研修では、シルバー会員のほかに60歳以上の一般市民にも門戸を拡げて、合計20名の意欲ある方々が受講されました。

シルバー人材センターでは、これからの子育て支援事業を推進するために、この技能研修を活かして、受講された方の多くが会員となって、市民の皆様の期待に応えて活躍していただきたいと思っています。

市民生活などを支援するシルバー会員の活躍

理事長
大井市郎

輝かしい平成31年の新春を、皆様はご家族お揃いで、健やかにお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年の当センターの事業は、会員のご活躍で、地域社会に貢献する大切な役割りを果たし、一般家庭や事業所などから親切・丁寧な会員の就労作業について、温かいことばで感謝が寄せられ、多くの皆さんの生活や事業に広く役立っていることは大変うれしく、今後より一層センターの充実に努めなければならないと思います。

今年は5月から元号も改められますが、当センターは第二次中長期計画の9年目になります。そのために当面の問題として、**会員の増強・就業開拓・福祉介護・子育て支援**などの課題に取り組み、市民の皆様に喜ばれるシルバー人材センターとなるように、会員が一丸となって努力したいと思います。どうぞよろしくご協力ください。

多くの事業に積極的な取り組み
恵那市SCの視察研修

本年度の役員視察研修は、多くの事業に取り組み成果をあげている岐阜県恵那市シルバー人材センターの事業を視察し、①派遣事業、②安全就業、③女性部の活動などについて、意見交換を行い大変に有意義な視察ができました。

この視察で習得した事業内容などは、今後の当センターの事業運営に活かして、藤枝市SCの充実に努めたいと思います。

恵那市の概要

恵那市は、岐阜県の南東部に位置し、恵那峡や大井ダム、また中山道の大井宿・女城主の城下町「岩村」など、豊かな自然と歴史的な環境資源に恵まれている東濃の田園都市です。

近年の広域高速道路網が整備されて、名古屋市など大都市との近接性を活かして地域の産業振興が図られています。

恵那市SCの活動

恵那市シルバー人材センターは、平成17年に恵那市と旧恵那郡の5町村のSCが統合し、新センターとなって、充実した運営で実績をあげています。

事業活動の実績

平成29年度の会員数が640人（男性416人・女性224人）・事業の契約金額は一億八千百万円、会員の就業率は83％でした。

①派遣事業

派遣事業に、会員99人が就業しており、契約金額が四千六三〇万円の実績を上げており、事業を請負から派遣に切替えていました。

②安全就業対策

作業の安全を徹底するため、一般家庭や企業などの作業現場を、役員（理事・班長）が、月一回安全パトロールを実施して、事故防止に努めていました。

③女性部の活動

全会員の約三分の一を占める女性会員は、各種の作業に就労していますが、特に家事や育児の支援・高齢者福祉の介護予防などの分野で活躍しています。

また、手づくり手芸・健康体操・身だしなみ講座など、女性の同好会的なグループ活動を計画して、女性会員の交流を深めながら、シルバー人材センターへの入会にも努めていました。

シルバー人材センターの活性化を!!

平成30年度の地区会を6地区で開催

高齢化社会の進行に伴い、センターの事業内容も多様化して、家事・育児・介護などの生活支援、農業支援や事業所からの軽作業など様々です。会員は、市民の皆様からの沢山の就業依頼に対し、素早く対応できるように努めています。しかし、多くの要望に対応していく為には、会員の更なる増員が急務の課題となっています。

事業推進委員会では、本年度も地区会を企画して、会員交流の促進と会員増員を主な課題に話し合い、センターの充実・活性化を目指して取り組んでいます。

シルバーの作業や親睦行事に参加して

生活に生きがいと充実感

本年度の地区会は、7月に藤枝東・西地区、10月に青島南・北地区、11月に高州・大洲地区の6地区で開催し、地区長・班長の皆さんと役員・事務局が出席して、会員交流などについて有意義な意見交換を行いました。

話し合いの"まとめ"

★会員になって、幾らかの収入を得たい、社会貢献をしたい、仕事を通して仲間づくりができる、と考えて会員になった方が多い。

また、地区や地域班の組織があるので、もっと地区や班の会合を開催し、意見や要望を提案して、センターの運営などに会員の考えを反映させ、みんなでセンターを育て、活性化できるように努めたいと思う。

★日頃のシルバーの活動を、広く市民の皆様へ周知することが、新会員の入会促進に繋がるので、もっとPRすることが必要ではないか。

★最近、定年の延長などで就労環境が変化し、会員が減少してきたが、本年度になって少し増加しているものの、仕事の依頼が多岐多様になり、その対応が大変になっている。

★一人が一会員の拡大を目指す運動は、全会員が常に入会促進を心掛け、お友達を誘うような気持ちで募集に努めることが大切。そのためには、会員同士の交流を深め、地区や班及び職群のグループで、お互いが協力して、新会員の勧誘に心掛けたい。

★会員の交流もなく、お互い名前を知らない状況を無くすために、会員同士が地区や班ごとに集う機会を計画し、それぞれの地区や班で仲間づくりをする。そして、事務局との連携を密にする必要があると思う。

★一緒に仕事をする職群では、仲間づくりが出来ているので、親睦旅行などのシルバーの行事にも誘い合って参加し、シルバーの活動が有意義なものであることをPRすることが、入会促進に役立つものと思う。

★会員は、それぞれの地元でコミュニティーが出来ているので、会員同士が顔見知りになる交流は、会員活動を推進するためには必要です。

◆◆◆

会員交流の促進の施策の意見の中から、試みとして高洲・大洲地区をモデル地区として会員名簿の作成・配布を実施することになりました。

◆◆◆

今後の地区会は1月に瀬戸谷・稲葉・葉梨地区、2月に広幡・西益津・岡部南・北地区を予定しています。

地区会（藤枝東・西地区）

センターの農業支援事業

農家の人手不足を応援

シルバー人材センターの農業支援事業は、農業従事者の不足や高齢化などによる農家の皆様を応援する事業です。

農家の皆様から依頼された田畑などの農地を、その農家の方と一緒に農作業に従事する仕事を行っています。

この農業支援に従事している会員さんは、農家の方から大変感謝されています。

農家の支援事業で、会員の作業実績は少ないが、これからは農地の管理など農作業の需要が多くなることが見込まれています。

遊休農地の活用

農業後継者がいないために、耕作が出来なくなった農地・遊休農地を借用して、その農地を会員が活用し、作物の栽培・収穫の成果を上げています。

本年度は、市内の平島と大新島の2か所の田圃を借用して、会員がもち米・さつまいも・ブロッコリーを植えました。

●もち米

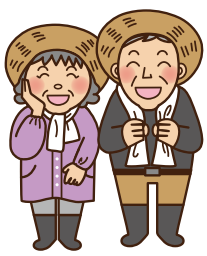
- 5月に田植え。
- 10月に稲刈り。
- 精米したもち米は、藤枝宿ふれあい祭りで餅つき実演・試食の実施、お客さんがいっぱいで行列になり、途中で打ち切りになる程でした。

●さつまいも

- 6月に苗植え。
- 11月に収穫。
- 「紅あかり」を作付け。
- 切干芋にして販売。

●ブロッコリー

- 10月に苗の植え付け。
- 2月に収穫。
- 給食センター等に納入して、学校給食にも供している。



もち米収穫

さつま芋苗植え

さつま芋切干

ブロッコリー苗植え

シルバーの日

シルバー会員100万人達成計画の推進

全国シルバー人材センター事業協会では、毎年10月を**“シルバー人材センター事業の普及啓発促進月間”**として、第三土曜日を**『シルバーの日』**とし普及啓発の運動を全国一斉に推進しています。今年度、静岡県内35市町のセンターは10月20日に一斉に行い、当センターでは蓮華寺池公園で理事長をはじめ役職員が参加して、ＰＲのチラシを配布するなど普及啓発活動を行いました。

毎月1回 入会説明会を開催

少子高齢化、人口減少社会の到来により労働力不足が深刻化する中で、シルバー人材センターへの期待が大きくなっています。

事業者や一般家庭からの仕事の依頼に対応できるよう当センターでは会員の確保・増強に努め、入会説明会を毎月一回開催していて、20名前後の方が参加されています。（ホームページを参照）

10月入会説明会

入会説明会日程

平成31年2月25日(月)
平成31年3月25日(月)

会場：シルバー人材センター2F
時間：午後1時30分から

シルバーQ&A

●入会説明には何名位の参加者があるのか？

平成29年度は173名の参加者がありました。入会者は92名(男性56名、女性36名）でした。

●入会者の年齢は？

平成29年度に入会した92名の入会時の年齢構成は

60歳～64歳9名（10％）
65歳～69歳47名（51％）
70歳～74歳31名（34％）
75歳以上　5名（5％）

●シルバー人材センターにはどんな求人があるのか？

求人情報の一部がホームページに掲載されていますのでご覧ください。この求人情報以外にも多くの急を要する求人があり、その場合、あらかじめ提出されている書類により個別に対応しています。

●入会後、資格取得などの講習会などは行われるのか？

植木剪定、子育て支援等、要望の多いものを企画実施しています。

絵画クラブの会員募集

稲葉地区　**原田昌宏**

先のシルバー機関紙の「私の趣味」でサークルを設立したい思いと募集を記載しましたが、再度募集をします。

絵は会員の丸山明彦様の水彩画です。水彩画・スケッチ画・絵手紙などご興味のある方々、一緒に絵をかきましょう。

連絡先（原田）
090-6090-2467

アクティブシニア応援フェアin藤枝

生涯学習センターで10月4日㈭に開催されました。

当日は、毒蝮三太夫氏の講演でホールは満員となり、当シルバー人材センターも写真等で会員の活動を紹介し、普及啓発活動に努めました。

会員による啓発活動

藤枝宿ふれあいまつり

秋にしては汗ばむような日差しの11月11日㈰、藤枝地区交流センターで「藤枝宿ふれあいまつり」が盛大に開催され、当シルバー人材センターも参加しました。

当日は、農業事業で会員が丹精込めて育て収穫した、もち米を使用してのちびっ子の餅つき体験や、切り餅・さつま芋の販売及び「はざし」の実演販売を行いました。

また、グラウンドゴルフ部によるホールインワンゲーム、屋内での、書道部の作品展示及びハイキング部の活動写真展示等で会員の活動の紹介をしました。

ちびっ子餅つき体験

出店

餅試食に長蛇の列

私の趣味

気ままな街道歩き

藤枝東地区　小澤　隆保

街道歩きを始めたのは、64歳の時（平成23年）。退職を機に、旧東海道を歩こうと計画しました。歩く目的を気ままな一人旅とし、江戸時代の古道にこだわって、昔の旅人に思いを馳せながら街道筋にある史跡（神社仏閣、城址、一里塚、本陣、関所等）を訪ねることにしました。江戸日本橋から京都三条大橋まで歩く途中、東海道は53次でなく57次だという説を知り、滋賀県大津宿～大阪高麗橋までの通称京街道（京伏見宿～淀宿～枚方宿～守口宿の4宿と大阪城を経由した56キロ）を追加した。静岡ではあまり知られていない街道であるが、歴史的には、秀吉が天下人として築いた伏見城や淀姫の為に築城したといわれる淀城跡、坂本竜馬が襲われた寺田屋等が現存しています。

この東海道57次は、気ままに歩いて全行程五百五十一キロ、8都府県・48市町を通過、実日数10泊33日を要しましたが、歴史的なロマンを感じ、人間の栄枯盛衰を想った旅でした。また、秀吉、家康が築いた東海道57次の開設から四百数十年経過した現在は、東京～大阪間「のぞみ」は3時間弱で往来し時代の隔世をも感じさせてくれます。

その後、甲州街道44次（日本橋から長野県下諏訪宿まで二百十キロ）を完歩、下諏訪宿から中山道を西進・木曽路・近江路と京まで（三百二十キロ）を歩きましたが、まだ中山道69次のうち28次が未踏（二百二十キロ）であり、5街道を言えば、日光街道、奥州街道が残っている。まだまだ先の長い趣味である。

坂本龍馬が暗殺されかけた京都伏見宿の寺田屋

会員互助会　親睦旅行

丹沢湖と伊豆長岡温泉

青島北地区　岸本　孝夫

今年の会員親睦バス旅行は、冬型の気圧配置で寒さを心配しましたが、風もなく快晴の旅行日和の11月23日に、丹沢湖と伊豆長岡温泉を目的地として、実施されました。

参加の会員がそれぞれの地区からバス4台に分乗して、目的地へと向かいました。

バスの車窓からは、いつも見慣れた富士山が一段と大きく見え、秋の景色を眺めながら一路、最初の目的地・紅葉の丹沢湖を目指しました。

丹沢湖は人造湖で、湖の誕生記念として建造された「丹沢湖記念館」を見学したり、周辺を散策しました。

今年の気候の影響か、紅葉が少ないのが残念でしたが、散見する紅葉は見事な彩りでした。

次の目的地は、伊豆長岡温泉のホテル、ニュー八景園です。ここでのお楽しみは、楽しく交流する宴会タイムと温泉です。

途中、交通事故による渋滞に遭遇し、予定していた時間が短くなるハプニングがありましたが、会場では、昼食に舌鼓をうちながら、カラオケの熱唱、扮装しての踊り・ハーモニカの演奏披露など拍手喝采で賑やかに盛り上がり、皆で楽しみました。

また、会場の盛り上がりを横目に、目的の温泉を楽しんだ会員さんたちもいました。

予定外の事はありながらも、順調に行程は進み、終日どのバスも笑顔があふれていた今年の会員バス旅行でした。

次回のバス旅行を楽しみにしています。

一人一会員拡大活動とは！

この運動の意味するところをみんなで共有して会員の増強を図り、当センターの充実・発展に寄与しましょう。

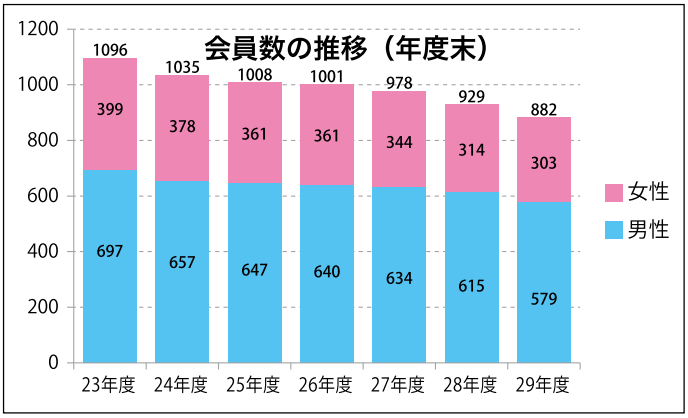
この活動は会員一人一人が一会員を勧誘して、当センターの会員増強を図り、事業力のアップに繋げる事を目的とする。

近年、研修で訪問した4センター全て、会員減少が重点的な悩みであり、その内3センターは会員自らが仲間づくりに努めている活動が特徴的でした。

当センターも他センターと同様に会員増強が大きな課題ですが、今後、保育・子育て・福祉・家事などの分野で業務増加が予想されますので、更なる女性会員のご努力をお願い致したい。

当センター会員、子育て支援業務の一幕

当センター会員の推移



会員数の推移グラフが語るもの

●会員数は千名を切った27年度からの減少が著しい。

●その中で男性よりも女性会員の減少率が多くなっている。（29年度は26年度比58名減）

●29年度の会員数は、23年度比200名強少なく、減少が著しい。一般的な組織論によると、大幅な人員減は組織が弱体化し、経営が難しくなると言われている。この事を皆で共有し増員に努めて行きましょう。

迅速な消火活動で栄誉ある感謝状を受賞

30年の8月、市内のお客様宅へ庭木の剪定に伺いました。午前中の作業が終わり、昼食時に向いの屋敷からの黒煙に気付き、駆け付けて近所の人達と協力して車両火災を消火し、隣接する住宅への延焼を防止し、被害の軽減に努めた。この迅速な行動に志太広域事務組合志太消防本部から感謝状を頂きました。

受賞者：青木正二

編集後記

明けまして、おめでとうございます。今年もシルバー広報誌の、ご愛読をお願い致します。

さて、昨年は藤枝市と岡部町が合併して10年と言う記念すべき年で、2年に一度開催の朝比奈大龍勢も合併記念イベントの冠の元、盛大に開催された。

また同時開催された全国龍勢サミットでは、それぞれの地域の龍勢の歴史紹介や、協賛打ち上げが実施され、何時にない盛り上がりであった。

地元龍勢も、打ち上げの成功率が年々低下する中、今回は90％以上の高成功率で、大雨の中ながら素晴らしい結果となりました。

朝比奈には、龍勢連が13連あり、それぞれの連が独自の方法で龍勢を制作し、他連にノウハウが漏れる事がないよう、その技術は、全て先輩から後輩への口伝によって伝授されているという。それが連内の結び付きを強固にし、龍勢継続の力になっているのかもしれない。

普及啓発委員長　大島　靖之